

令和6年8月1日発行
東園お盆号
宗教法人東園寺

宗教法人 東園寺
〒985-0026 塩釜市旭町4-1
022(362)0777 寺務所
022(364)4444 寺FAX
022(362)8651 中央幼稚園

学校法人 東園寺学園
〒985-0012 塩釜市芦畔町13-51
022(365)5616 第二中央幼稚園

報 園 花 東 園

つた 伝えよう
いのち 命の尊さ
ほとけ 佛の心

伊達政宗公の戒名

檀信徒各位におかれましては日頃より東園寺護持の為に協力賜り有り難うございます。

さて、私が瑞巖寺執事長となつて早くも4年半となりました。就任早々にコロナ禍となり運営には大変苦慮しましたが、国宝をより良く活かす事を念願にさまざまな行事を企画して参りました。先日実施した藩祖伊達政宗公毎歳忌特別参拝もその一つで、政宗公の戒名が書き入れられた御朱印を入手された

方に普段は立ち入りを制限している瑞巖寺本堂に入室して頂くという内容です。この際には政宗公のお位牌も近くでお参り頂くのですが、多くの参加者がその位牌の大きさや豪華さに驚かれるようです。

政宗公の戒名は「瑞巖寺殿前黄門貞山禅利大居士」。瑞巖寺殿は瑞巖寺が菩提寺であることを表し、黄門は政宗公の官位である権中納言を中国風に表す語句です。貞山禅利は戒名の核となる部分、というよりも本来の戒名部分と言った方が良くかも知れませ

ん。戒名は一文字目と四文字目が熟語となるように文字を配置するというのが伝統的なつけ方で、ここでは利貞がこれに当たります。

利貞の語源は「元亨利貞」。『易经』に由来する語句です。元、亨、利、貞はそれぞれ春夏秋冬に喩えて説明されます。すなわち元は春に種子を植えるようにものごとの始まりを意味し、亨は夏でこの種子が大きいに成長するようにものごとが育つこと、利は秋でその種子から成長した植物の実りを採取すること、元と亨の営みによる成果を表し、貞は冬でその実りが熟成されて酒となり、これを神に供えると共に翌春の種子を準備する



ことから、成果が得られたことを大いなるものに感謝し、それを次代に引き継ぐということを表します。

また元亨利貞にはそれぞれ仁、礼、義、智というはたらき、あるいは裏付けがあります。元というものごとの始まりは、人々の思いやりと和合である仁、ものごとの成長である亨には、人々の和合を保つ為には決まりや基準が大切であり、これが礼です。また実りを収穫する際には自我という執着に汚されぬことが必要です。もし人が収穫された穀物や成果を自分が独り占めして、神に供え、翌年に種子を残すことをしなければ、次代は滞ってしまいます。この自我を抑制した正しい道を義と呼びます。智はこれらの流れの完成を意味するもので、神に成果を供え、次に続く時代にその実りを伝えてこそ、大いなる生命の循環は完成するのです。

このように政宗公の戒名の背景にある元亨利貞には、仙台藩の藩祖に相応しい深い意味があるのです。元亨利貞や仁礼義智は儒教で大切にする教えですので、我々現代人から見るとなんだか古臭いとも思えますが、社会は発展して次の世の中に引き継がれる為の基本であると感じます。

お盆にお墓参りをするというのも元亨

利貞のような大きな恵みの循環により、私達が生かされていることを感謝する為であると言えます。

東園寺のお盆供養

初めてお盆を迎える方々、新たに東園寺の檀家になられた方の為に当山のお盆供養の日程と意味を紹介申し上げます。

■精霊札(しよりりょうふだ)

同封したお札です。

去る、7月15日、皆様に送付致しました七如来名号の開眼供養を行いました。七如来は餓鬼道に落ちた者を救う仏様です。お盆中は施餓鬼棚を飾る場合には施餓鬼棚の中央に、仏壇の前にお盆の供物を供える場合には、仏壇の本尊様の脇など本尊様に近い場所に安置してください。お盆中に安置したお札は、出来れば8月16日迄、遅くとも8月24日の午後5時迄に東園寺に納めてください。

■精霊迎え法要

8月12日 午後6時

ご先祖様をお迎えする法要です。本堂内で蠟燭に灯を点して迎え火と致します。蠟燭は差し上げますので、各家でも灯を点してご先祖様をお迎えください。ご家族揃ってご気軽に平服でお越しください。

※蠟燭の授与は各家に1つとなります。



昨年の精霊迎え法要

■お盆のお布施について

お盆の布施は寺務所で受け付けております。13日に限らず8月24日までお受けしますので、ご都合の良い日にお越しください。今年もご供養の証に可愛いバッグを差し上げます。

※お盆供養の布施袋は初盆の方以外は赤帯で結構です。正面には「布施」とお書きください。

■新亡供養

8月14日 午前10時

昨年の8月より本年7月中に逝去された方々の初盆の供養です。該当するご家庭には個別に案内状を送付申し上げます。



昨年の新亡供養

■戦死戦病没者慰霊並びに

世界平和祈願法要

8月15日 午前11時45分

どなたでもご参加頂けます。

平服でお越しください。

■地藏盆(寺内法要)

8月24日 午後5時

お盆の締め括りの法要です。近畿地方では子供のお盆ともされますが、東園寺ではお盆中の本尊であった七如来のお札を焚き上げ供養を致します。寺内の僧侶のみでお勤めいたします。

■花塔婆

ご自分のお墓はもちろん、他の方のお墓をお参りされた際に供養の印にお供えする小さな塔婆です。従来の供花ですと数日で枯れ、お墓を守っている方が掃除をしなくてはなりません。折角の供養が大きな手間となってしまふのです。安価で衛生的な花塔婆供養をご検討ください。花塔婆一体700円 施主名は寺でお書きします。花塔婆の予約は8月1日よりお電話で承ります。



花塔婆

不動堂大祭

10月14日 午前11時

昨年引き続き真言宗法華寺(三田洞弘法) 林良恭師を招き、護摩祈禱会を厳修します。開運、健康祈願などを希望される方は是非ご来山ください。護摩木のお申し込みはお盆中より承ります。

護摩木 500円

お札 1,000円



昨年の不動堂大祭

※古い塔婆について

法要後、1年以上経過した塔婆は本堂脇の古塔婆納所に納めてください。

職員のみでは山頂墓地全ての塔婆回収は困難です。何卒ご協力ください。月見墓地など境外に墓地をお持ちの方も同様です。

※境内墓地の清掃について

境内墓地に関し、寺が清掃を行うのは通路が中心となります。

ここ数年は暑い夏が続き、雑草が繁茂に除草が間に合わない事がございます。8月12日に向けて鋭意努力致しますので、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。また檀信徒各家がお使いになつている墓地区画内の除草や掃除は寺では行いません。ご自身、もしくは予め業者にご依頼くださいますようお願い致します。

東日本大震災・各家先祖供養
仏教文化講演会

地蔵流し法要



令和6年9月9日(月)
午前11時30分

法話 曹洞宗 千葉公慈師

東北福祉大学学長 千葉県宝林寺住職

『あるがままに生きる～自分を愛するということ～』

会場 塩釜壺番館5階遊ホール 塩釜市本町1-1

会費 2,000円 お問い合わせは各菩提寺

もしくは塩竈連合寺院事務局(東園寺 022-362-0777)まで

令和6年度 地蔵流し法要 参加者募集!

日時 9月9日(月) 午前11時 開場 場所 壺番館遊ホール
午前11時30分 地蔵流し法要

講演 正午頃 講演 曹洞宗 千葉公慈師 東北福祉大学学長 千葉県宝林寺住職
演題『あるがままに生きる～自分を愛するということ～』
午後1時頃 解散

会費 2,000円(経木塔婆供養を含む)会費納入後不参加の場合は供養料として申し受け、返金は致しません。

お申込先 東園寺・寺務所

申込期限 8月27日〆切(厳守のこと)

【注意事項】 当日塔婆の受付はありません。
申込寺院に1体1,000円を添えて事前にお申し込み下さい。

※会費には塔婆一体分の布施が含まれています。個々の戒名での供養、他家の塔婆供養をご希望の方は、下記の申込用紙に戒名等を記入の上、申込寺院に1体1,000円を添えてお申し込み下さい。

当日、不参加で塔婆供養のお申し込みも承っております。当日、塔婆の受付はございませんので事前にお申し込み下さい。

地蔵流し法要参加申込書

住所		
氏名		電話

※参加費2,000円には、申込の経木塔婆供養が含まれています。下記は別に申し込む方のみご記入下さい。

戒名	